

第8章：きっかけ作り！

私は小学校から大学まで12年間ラグビーをしていました。2019年はワールドカップが日本で開催され、大分で開催された試合を直接スタジアムに見に行ったり、パブリックビューイングで最前列にしているニュージーランドの試合をライブで見ることができ、とっても楽しい時間を過ごすことが出来ました。社会人になってからは専ら観戦がメインでプレーすることはほとんどありませんでしたが、ラグビーを始めるきっかけを与えてくれたのは、父親でした。

話は変わりますが、アップル(株)の創業者・スティーブ・ジョブズのスタンフォード大学での卒業生に対するスピーチを聞いたことがある人は多いと思います。最後に「ステイ・ハングリー！ステイ・フーリッシュ！」で締めくくられる伝説のスピーチです。そのスピーチの中盤辺りで出てくる『コネクティング・ドット』

の話をここで引用したいと思います。ジョブズは大学を中退後、こっそり大学の授業の中で、興味があったカリグラフィ（日本で言う、書道のような芸術教科）の授業を受けていたそうです。その後、一度経営陣と馬が合わず自身が立ち上げた会社（アップル）を追い出され、再びアップル再興のため復帰したジョブズが初代Mac（マッキントッシュ）を開発したのは10年後のことです。今では当たり前ですが、美しい書体（フォント）と字体間を一定幅にする機能が全てのパソコンに搭載されているのは、10年前のカリグラフィの授業の記憶が甦って来たからだと言っています。

～抜粋版です～

全文読んでみたいと思われた方は完成版を小冊子として送付させていただきますので、

メールにてお問合せください。